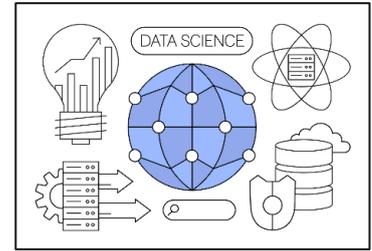


◇ 為櫻学園 光プロジェクト（進路探究） 「データサイエンス入門講座」

日時 ○ 令和6年6月12日（水） 16時00分～17時05分

参加者 ○ 本校1～3年生希望者（23名）

場所 為櫻学習館1階 多目的ホール



<講師> 河本 満（かわもと みつる）先生
（宇都宮大学データサイエンス経営学部 教授）

👉 「データサイエンス」は、現在世界中で最も需要が高い学問分野であり、専門家の育成が急務とされています。それを受けて、現在各大学に続々と学部・学科が新設されていることは広く知られていると思います。

そんな中、今年度は、宇都宮大学データサイエンス経営学部教授の河本 満 先生をお招きして、希望生徒に対してデータサイエンスに関する手ほどきをいただくこととなりました。

3月まで産業技術総合研究所に勤務されていただけあって、河本先生のお話（そして資料）にはデータサイエンスの可能性に関する最先端の情報が目白押しでした。

特に、「実は私が現在手がけている研究なのですが…」と紹介して下さったある事例が印象に残ったので、講話終了後に「あの〇〇についてですが、あれはもしかして世界で先生しか取り組んでいない、かなり先端的な研究なのではないですか？」と尋ねたところ、河本先生は笑みを浮かべながら「そうです！」とお答えくださいました（内容は、機密事項ゆえもちろん明かせません）。つまり、参加した生徒は最先端の研究に触れる荣誉に浴したわけです。実に貴重な、贅沢なひとときでした。



この講義を受けて、参加した2年生の数々が「総合的な探究」のテーマとしてデータサイエンスを選んだそうです。後日、別件で来校された河本先生にその旨を伝えしたところ、たいそう喜んでおられました。河本先生は、現在大学1年生の指導も担当されており、本校卒業生もお世話になっているそうです。今後ともよろしく願いいたします。

<生徒の感想から>

- データサイエンスが身の回りで活かされていることがよくわかった。サッカーの試合にもAIを使うことでより効率よく戦略をたてられることに驚いた。次があったらまた参加したいと思います。
- 世の中にデータサイエンスはとても役に立っていることがわかりました。データサイエンスをもっと活用して世の中をもっと良くできると思いました

- ・ 初めてデータサイエンスというものに触れてみて、最初は全然未知のものだと思ったらとても身近にあることがわかりました。自分もコレを機にデータサイエンスについて興味を持つことができました。
- ・ 河本先生が開発途中だとおっしゃっていた〇〇〇〇が実用化されたとしたら、とてもすごいことだと思った。(注：研究上の秘密に関わる部分は伏字にさせていただきました)
- ・ データサイエンスがこれからの時代を作っていく分野であると感じた。
- ・ データサイエンスとは何なのか、これからの時代どのようにデータサイエンスが日常生活に関与してくるかがよくわかった。この度はこのような機会をいただきありがとうございました。
- ・ データサイエンスとはどういったものなのか、具体的な例を交えながらわかりやすく解説していただくことができ、とても喜ばしく思いました。また、先生が研究していらっしゃるって仰っていた……ことには大変興味をそそられました。その研究がいつどこで体験できるかわかりませんが、その日を楽しみにしております。(注：研究上の秘密に関わる部分は伏字にさせていただきました)
- ・ データサイエンスについてよく知ることができました。また、先生の活動を聞いて、データサイエンスの新しい可能性をかいま見ることができました。
- ・ データサイエンスでは農業、スポーツ、自治体、音など様々な活用例が多くあることに驚きをもちました。
- ・ データサイエンスを上手く活用していくことが良い将来に繋がるのだと思いました。
- ・ 一日にどのくらい研究をしていますか？
- ・ とても貴重なお話をありがとうございます。自分は多面的な視点で捉えるのが苦手ですが、問題を解決することがとても好きなので、とても楽しい授業でした！本当にありがとうございました！



<左>

河本先生からいただいたテーマについて、グループごとにアイデアを出し合っています。(この後、発表を行いました。)

